

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6771278号
(P6771278)

(45) 発行日 令和2年10月21日(2020.10.21)

(24) 登録日 令和2年10月1日(2020.10.1)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 3 F 7/02 (2006.01) A 6 3 F 7/02 3 4 9 Z

請求項の数 2 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2015-231323 (P2015-231323)	(73) 特許権者	506179697
(22) 出願日	平成27年11月27日(2015.11.27)		株式会社エルゴジャパン
(65) 公開番号	特開2017-51584 (P2017-51584A)		東京都品川区大崎一丁目6番4号 新大崎
(43) 公開日	平成29年3月16日(2017.3.16)		勤業ビルディング7階
審査請求日	平成30年10月23日(2018.10.23)	(74) 代理人	110002871
(31) 優先権主張番号	特願2015-177572 (P2015-177572)		特許業務法人サカモト・アンド・パートナーズ
(32) 優先日	平成27年9月9日(2015.9.9)	(72) 発明者	安田 光守
(33) 優先権主張国・地域又は機関	日本国(JP)		東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビルディング7階 株式会社エルゴジャパン内
前置審査		審査官	小泉 早苗
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 下部仕切り板

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣接する遊技台の前方領域の下部を仕切る下部仕切り板であって、
仕切り板本体と、
前記仕切り板本体を固定する固定部と、を備え、
前記仕切り板本体の側部に設けられ、前記遊技台に対して遠ざかる方向に延びるように形成される羽根部を有し、
前記羽根部は、前記仕切り板本体に取り付ける取付部を有し、
前記羽根部は、
広告用パネルを収容する収容部と、
前記収容部に収容された広告用パネルを保持する保持部と、を有することを特徴とする下部仕切り板。

【請求項 2】

前記羽根部は、接触を避けるための切欠き部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の下部仕切り板。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、下部仕切り板に関する。

【背景技術】

【 0 0 0 2 】

パチンコ台やスロットマシン等が設置された遊技ホールでは、遊技に集中してもらうため、遊技者ごとに快適な遊技空間を提供している。例えば、特許文献 1 には、仕切手段を利用して利用者が楽な姿勢で遊技が行なえるように、遊技者が使用する側の腕を置く肘掛部を備えた遊技ブースが記載されている。この遊技用ブースによれば、遊技者は、その遊技機用空間を使用して快適に遊技に集中することができる。

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

【 0 0 0 3 】

【 特許文献 1 】 実用登録第 3 1 3 6 4 3 2 号公報

10

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 4 】

本発明は、遊技者が占有できる遊技空間内において、よりよい遊技環境を提供可能な下部仕切り板を提供することを目的とする。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 5 】

上記課題を解決するため、(1) 本発明は、隣接する遊技台の前方領域の下部を仕切る下部仕切り板であって、仕切り板本体と、前記仕切り板本体を床に固定する固定部と、を備え、前記仕切り板本体の側部に設けられ、前記遊技台に対して遠ざかる方向に延びるように形成される羽根部を有し、前記羽根部は、前記仕切り板本体に取り付ける取付部を有する。

20

【 0 0 0 6 】

(2) 上記 (1) において、前記羽根部は、広告用パネルを収容する収容部と、前記収容部に収容された広告用パネルを保持する保持部と、を有する。

(3) 上記 (1) 又は (2) において、前記羽根部は、接触を避けるための切欠き部を有する。

(4) 本発明は、隣接する遊技台の前方領域の下部を仕切る下部仕切り板であって、仕切り板本体と、前記仕切り板本体を床に固定する固定部と、を備え、広告用パネルを収容する収容部と、前記収容部に収容された広告用パネルを保持する保持部と、を有する。

30

(5) 上記 (1) から (4) のいずれか 1 において、前後方向及び横方向の少なくとも一方にスライドする肘置きをさらに有する。

【 0 0 0 7 】

(6) 上記 (5) において、前記肘置きの前記仕切り板本体側に設けられ、肘置きに置かれた手が接触可能な板部材をさらに有する。

(7) 上記 (1) から (6) のいずれか 1 において、収納状態から展開状態に展開可能なテーブルを有する。

(8) 上記 (7) において、前記テーブルが前記展開状態において回動軸方向にスライドしたときに前記テーブルの回動を規制するロック部と、前記テーブルが展開状態において前記回動軸方向に前記テーブルに対して付勢力を与える付与部と、をさらに有する。

40

(9) 上記 (1) から (6) のいずれか 1 において、前記仕切り板本体の少なくとも一方の面に設けられたポケットをさらに有する。

【 0 0 0 8 】

(1 0) 上記 (1) から (9) のいずれか 1 において、前記仕切り板本体を膳板に固定するための固定部をさらに有する。

(1 1) 上記 (1) から (1 0) のいずれか 1 において、前記肘置きの高さを調整する調整部をさらに有する。

(1 2) 上記 (1 1) において、前記調整部は、前記固定部から垂直方向に立設されたフレーム部と、前記仕切り板本体と前記フレーム部を固定する固定手段と、を有する。

【 発明の効果 】

50

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、遊技者が占有できる遊技空間内において、よりよい遊技環境を提供可能な下部仕切り板を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 0 】

【図 1】遊技島に第 1 実施形態に係る下部仕切り板の利用状態を模式的に表した図である。

【図 2】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す斜視図である。

【図 3】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す斜視図である。

【図 4】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す構成図である。

【図 5】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板の肘置きを説明する図である。

【図 6】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルを展開した状態を示す図である。

【図 7】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルを展開した状態を示す図である。

【図 8】本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板の羽根部の広告収納部について説明する図である。

【図 9】本発明の第 1 実施形態の変形例に係る下部仕切り板を説明する図である。

【図 10】本発明の第 2 実施形態に係る下部仕切り板にポケットを取り付けた状態を示す斜視図である。

【図 11】本発明の第 2 実施形態に係る下部仕切り板にポケットの取り付け方を示す分解斜視図である。

【図 12】本発明の第 2 実施形態の変形例に係る下部仕切り板にポケットを取り付けた状態を示す斜視図である。

【図 13】本発明の第 2 実施形態の変形例に係る下部仕切り板にポケットを取り付けた状態を示す斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 1 】

以下、添付図面を参照して、本発明を実施するための形態（以下、実施形態）について詳細に説明する。以降の図においては、実施形態の説明の全体を通して同じ要素には同じ番号又は符号を付している。

【 0 0 1 2 】

< 第 1 実施形態 >

以下、図 1 ～ 図 9 を参照しながら本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板の構成について詳細に説明する。図 1 は、遊技島 A に第 1 実施形態に係る下部仕切り板 1 の利用状態を模式的に表した図である。

【 0 0 1 3 】

図 1 に示すように、遊技ホールには、複数の遊技島 A が配置され、遊技島 A ごとに複数の遊技台 B が設置されている。第 1 実施形態に係る下部仕切り板 1 は、隣接する遊技台の前方領域の下部を仕切るものである。この下部仕切り板 1 は、前面が遊技台 B の枠体とほぼ同じ位置となるように各遊技台 B の台間に配置される上部仕切り板 C の床方向に設置されている。

【 0 0 1 4 】

図 2 は、本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す斜視図である。図 3 は、本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す斜視図である。図 4 は、本発明の第 1 実施形態に係る下部仕切り板のテーブルが収納されている状態を示す構成図、（ a ）は正面図、（ b ）は左側面図、（

10

20

30

40

50

c) は右側面図、(d) は背面図である。

【0015】

図5は、本発明の第1実施形態に係る下部仕切り板の肘置きを説明する図、(a) は肘置きの上面図、(b) は底面図、(c) は(b)のX-X断面図である。図6(a)は、本発明の第1実施形態に係る下部仕切り板のテーブルを展開した状態を示す図、(b)はテーブルの取付部を説明する図である。図7は、本発明の第1実施形態に係る下部仕切り板のテーブルを展開した状態を示す図である。図8は、本発明の第1実施形態に係る下部仕切り板の羽根部の広告収納部について説明する図である。

【0016】

(下部仕切り板)

図2から図7に示すように、下部仕切り板1は、仕切り板本体10、羽根部11、テーブル20、肘置き30、側部固定部40、高さ調整部41、下部固定部42を有する。

【0017】

(仕切り板本体)

仕切り板本体10は、板形状に形成されており、金属やアルミニウムによって構成され、その周囲は塗装が施されている。なお、仕切り板本体10に複数の穴を設けて、通気性を確保するようにしてもよい。仕切り板本体10にはフック60が設けられており、このフック60に物を掛けることができる。また、仕切り板本体10には傘、洋服収納容器又はメダル収納容器等を保持する保持部を設けることができる。仕切り板本体を樹脂製の素材によって構成することもできる。

【0018】

(羽根部)

仕切り板本体10の側部には樹脂製の羽根部11が設けられている。この羽根部11は、遊技台に対して遠ざかる方向に延びるよう形成されており、下部の一部は接触を避けるための切欠部11cが形成されている。この切欠部11cが有ることによって、椅子を回転させたときに、椅子や遊技者の足が羽根部11に接触することを防ぐことができる。

【0019】

羽根部11は、客が接触した時に破損し、あるいは遊技客が怪我を負わないようにするため、一定程度の強度と弾性を有する素材であることが好ましい。これらの条件を満たすためにはアクリル製のボード、例えば、エラストマー性樹脂が含有される素材を使用するのが好ましい。エラストマー性樹脂は、数あるプラスチックの中でもゴムの性質を最大の特徴としており、ゴムとプラスチックの双方にまたがるような非常に特徴ある使い方がなされており、一定の強度と弾性を有する点で羽根部11の素材として最適である。なお、エラストマー性樹脂に限定されず、透明であって一定の強度と弾性を有する素材であれば代替可能である。

【0020】

羽根部11の形状又は大きさは、遊技店に設置される隣接する遊技島との間隔や、遊技台の台間に設置される上部仕切り板(図1で示す上部仕切り板C)の形状、及び大きさに応じて適宜変更可能である。なお、羽根部11と、仕切り板本体10は一体成形されていてもよい。

【0021】

図6(a)に示すように、羽根部11は、仕切り板本体10の孔10bにネジ(取付部)43によって取付けることができる。仕切り板本体10に形成されている孔10bにネジ43で固定することができ、取り外すときは、ネジ43を緩めることによって、取り外すことができる。羽根部11は、大きい羽根部と、小さい羽根部とを用意しておき、必要に応じて大きい羽根部と小さい羽根部を選択的に取付部43によって仕切り板本体10に取付けることができる。

【0022】

図8に示すように、羽根部11には、広告用パネルPを収容する収容部11aが形成されており、収容部11aに収容された広告用パネルを保持する保持爪(保持部)11bが

10

20

30

40

50

設けられている。図 8 (a) に示す状態から、保持爪 1 1 b にそって広告用パネル P を収容部 1 1 a に収容させていき (同図 (b))、広告用パネル P をすべてを収容部 1 1 a に入れることができる (同図 (c))。この構成によって広告用パネル P を簡単に変更することができる。図に示す例では、羽根部 1 1 の両側にそれぞれ広告用パネルを収容することができるように構成したが、両側に広告表示がなされた 1 枚の広告用パネルを一つ収容部に装着して、両側から視認することができるように構成することもできる。なお、広告用パネル P を収容する収容部を羽根部に設ける例について説明したが、広告用パネル P を収容する収容部を仕切り板本体 1 0 に設けるようにしてもよい。

【 0 0 2 3 】

(テーブル)

下部仕切り板 1 は、テーブル 2 0 が設けられており、不使用時には仕切り板本体 1 0 の内側に折り畳まれて収納される。図 6 (a) に示すように、このテーブル 2 0 は収納状態から展開状態に展開させることができる展開可能なものであり、収納状態から展開状態に起こしたときに、テーブル 2 0 を遊技台に対して前後方向にスライドさせることができる。仕切り板本体 1 0 には仕切り板本体 1 0 から突出し、テーブル 2 0 の回動を規制するロック部 2 5 が取り付けられている。このロック部 2 5 によって、テーブル 2 0 は、展開状態において回動軸方向にスライドさせたときにテーブル 2 0 の回動が規制されている。

【 0 0 2 4 】

また、図 6 (b) に示すように、テーブル 2 0 が展開状態において回動軸方向にテーブル 2 0 に対して付勢力を与えるバネ (付与部) 2 4 が設けられている。突起 2 3 と回転軸 2 1 に設けられた突起 2 2 の間に設けられたバネ 2 4 によって、回転軸方向に付勢力が与えられ、ロック部 2 5 に当接するテーブル 2 0 は回動が規制される。尚、図においては、回動によって収納状態から展開状態へ移行する場合を例にとって説明しているが、これに限られず、収納状態から展開状態へ移行することができるものであれば、例えば引き出し式等の場合も含まれる。

【 0 0 2 5 】

(肘置き)

仕切り板本体 1 0 は、仕切り板本体 1 0 の遊技者の側方と対向する側の面の反対側の面に肘置き 3 0 が設けられる。図 3 及び図 4 等 に示すように、肘置き 3 0 の仕切り板本体 1 0 側には、板部材 3 2 が設けられている。この板部材 3 2 を設けることによって、肘置き 3 0 に置かれた手が板部材 3 2 に接触可能であり、遊技者がハンドルに手を掛ける際の負担を軽減することができる。

【 0 0 2 6 】

次に肘置き 3 0 のスライドについて説明する。図 5 (b) に示すように、肘置き 3 0 の下側には、プレート 7 1 が設けられている。仕切り板本体 1 0 には、取付金具 7 0 が固定されている。取付金具 7 0 には、遊技者から左右方向に延びる長孔 7 2 が形成されている。取付金具 7 0 とプレート 7 1 は、長孔 7 2 を介してボルト 7 3 によって取付されている。ボルト 7 3 を緩めることによって、プレート 7 1 は取付金具 7 0 に対して、左右方向に移動することができ、これによって、肘置き 3 0 を遊技台からみて左右方向 (横方向) にスライドさせることができる。

【 0 0 2 7 】

また、図 5 (c) に示すように、肘置き 3 0 とプレート 7 1 は、スライドレール 3 1 を介して取り付けられている。スライドレール 3 1 は、それぞれネジを介して肘置き 3 0 とプレート 7 1 に固定されている。スライドレール 3 1 は、バネ等によって元の位置に戻るよう付勢力が与えられている。スライドレール 3 1 によって、遊技台の前後方向に肘置き 3 0 をスライドさせることができる。これによって遊技者の負担を軽減することができると共に、メンテナンス時には遊技台の扉の開閉をしやすくなる。

【 0 0 2 8 】

(側部固定部)

次に側部固定部 4 0 について説明する。図 1、図 2 及び図 6 に示すように、側部固定部

10

20

30

40

50

４０は、取付金具４０ｂが設けられており、この取付金具４０ｂには、複数の孔４０ａが形成されている。取付金具４０ｂは、膳板Ｄの下側に位置し、ネジを介して膳板Ｄに螺着固定される。テーブル２０が展開状態となったときにテーブル２０の上面と膳板Ｄの上面が略一致するように、仕切り板本体１０に対する取付金具４０ｂの位置が決定されている。このように構成することで、テーブル２０と膳板Ｄを遊技者が一体的に使用することができる。

【００２９】

（高さ調整部）

図２に示すように、下部仕切り板１には、肘置き３０の高さを遊技台のハンドルの高さに対して調整するために調整部４１が設けられている。調整部４１は、下部固定部４２を構成する取付金具４２ａから垂直方向に立設されたフレーム部４２ｃと、仕切り板本体１０とフレーム部４２ｃを固定するネジ（固定手段）４２ｄと、を有する。仕切り板本体１０は、端部が中空に形成されており、この端部に対してフレーム部４２ｃが摺動可能に構成されている。膳板Ｄの下部と取付金具４２ａの位置が決まると、フレーム部４２ｃと仕切り板本体１０の位置関係が決定する。

【００３０】

（下部固定部）

次に下部固定部について説明する。図２に示すように、下部固定部４２は、仕切り板本体１０を床に固定するためのものである。下部固定部４２は、取付金具４２ａを有し、この取付金具４２ａには、複数の孔４２ｂが設けられている。上記高さ調整後、取付金具４２ａの孔４２ｂにアンカー等でホールの床面に打ち付けることにより、下部仕切り板１を、床面にしっかりと固定することができる。

【００３１】

< 第１実施形態の変形例 >

第１実施形態の変形例について説明する。図９は、第１実施形態の変形例を説明する図である。上記第１実施形態では、仕切り板本体を一体のものとして構成したが、図９に示すように、仕切り板本体を上部仕切り板本体１００ａと下部仕切り板本体１００ｂに分割して構成することもできる。上部仕切り板本体１００ａ及び下部仕切り板本体１００ｂは、例えば、プラスチック等の樹脂製のカバーや樹脂製のメッシュにて構成される。上部仕切り板本体１００ａには、羽根部１１１が一体成形されている。下部仕切り板は、金属製のフレーム５０に上部仕切り板本体１００ａ及び下部仕切り板本体１００ｂを装着することによって構成されている。

【００３２】

< 第１実施形態の効果 >

第１実施形態に係る下部仕切り板１によれば、遊技者は、快適に遊技を行えることができる。また、仕切り板本体１０の一方の面に収納可能なテーブル２０を有することで、遊技者は、そのテーブル２０上に、煙草が入った箱、携帯電話、あるいは飲みかけの飲料缶等をその遊技空間内に載置していつでも使用できるような状態にしておくことができる。また、他方の面に肘置き３０を備えることで利用者が楽な姿勢で遊技が行なえるようになる。

【００３３】

また、高さ調整部４１を有することで、遊技店によって高さが異なる膳板に合わせて設置が可能となる。また、仕切り板本体１０の側部に、着脱自在に設置される羽根部１１を設けることで、当該羽根部１１に遊技場のサービス案内情報等、ＰＯＰ（Point of purchase advertising）広告を貼付することができ、タイムリーで的確な宣伝と情報提供が可能になる。

【００３４】

< 第２実施形態 >

第１実施形態では仕切り板本体１０の一方の面にテーブル２０を設けたが、第２実施形態は、テーブル２０に代えて、ポケット８０を設けたものである。ポケット８０を設けた

場合にも、煙草が入った箱、携帯電話、あるいは飲みかけの飲料缶等をその遊技空間内に載置していつでも使用できるような状態にしておくことができる。図 10 から図 13 を用いて、第 2 実施形態について説明する。なお、テーブル 20 に代えてポケット 80 とした点以外は第 1 実施形態と同様であるので、それらの点の説明は省略する。

【0035】

図 10 では、ポケット 80 を仕切り板本体 10 の上部であって肘置き 30 とは反対側の面に取り付けた場合を示している。図 11 は、図 10 のポケット 80 の取り付け方を仕切り板本体 10 の反対側すなわち肘置き 30 の側からみた図である。ポケット 80 は、その上部に取り付け用の孔 80a を有しており、仕切り板本体 10 の上部に設けられている取付金具 10a によって仕切り板本体 10 に固定される。図示するように、ポケット 80 は、その幅において広狭の部分

10

【0036】

を有しており、収納する物品の大きさによってポケット 80 内の適した位置を選択できるようになっている。図 12 は、ポケット 80 が仕切り板本体 10 の上部よりもポケット 80 のほぼ 1 個分だけ下方に取り付けられた変形例を示している。なお、ポケット 80 は、足を組んだり、少し斜めを向いたりして遊戯する遊技者の姿勢に応じ易いように、仕切り板本体 10 の枠体に沿って上下にスライドするように構成してもよい。

【0037】

さらに、ポケット 80 の取付位置は、仕切り板本体 10 の上部であって肘置き 30 の側の面に取り付けてもよい。図 13 は、図 12 の取付位置に対応する箇所に取り付けられた変形例を示している。このようにすると、肘置き 30 とポケット 80 が干渉せずに、ポケット 80 に前述した物品を収納することができる。また、この場合、図 10 及び図 11 に示したように、仕切り板本体 10 の反対側の面の上部にもポケット 80 を取り付けることができ、ポケット 80 は、仕切り板本体 10 の少なくとも一方の面に取り付けられればよい。

20

【0038】

また、図 10 から図 13 ではポケット 80 として剛性の枠体から構成されたものを図示したが、ポケット 80 は、これに限らず、例えば、折り畳み式のカップホルダー様のものや、剛性の枠体に代えて網かご状又はネット状のものなどであってもよく、仕切り板本体 10 に取り付けられるように、かつ、物品を収納するように構成されているものであれば、種々の態様のものを採用することができる。

30

【0039】

以上、実施形態を用いて本発明を説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施形態に記載の範囲に限定されないことは言うまでもない。上記実施形態に、多様な変更又は改良を加えることが可能であることが当業者に明らかである。またその様な変更又は改良を加えた形態も本発明の技術的範囲に含まれ得ることが、特許請求の範囲の記載から明らかである。

【符号の説明】

【0040】

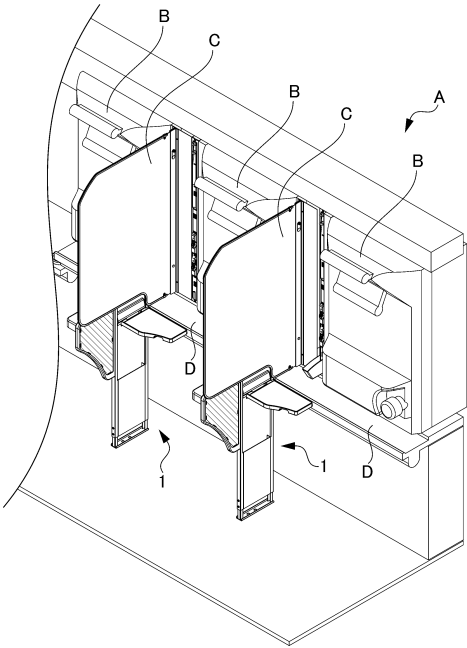
- 1 ... 下部仕切り板
- 10 ... 仕切り板本体
- 11 ... 羽根部
- 20 ... テーブル
- 30 ... 肘置き
- 40 ... 側部固定部
- 41 ... 高さ調整部
- 42 ... 下部固定部
- 50 ... フレーム
- 60 ... フック

40

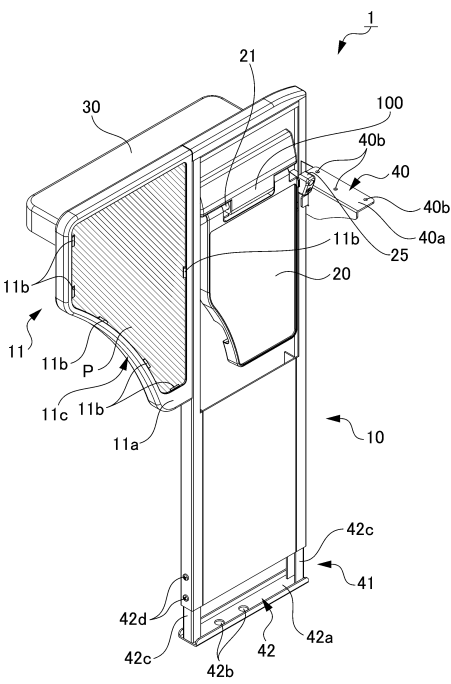
50

7 0 ...取付金具
8 0 ...ポケット

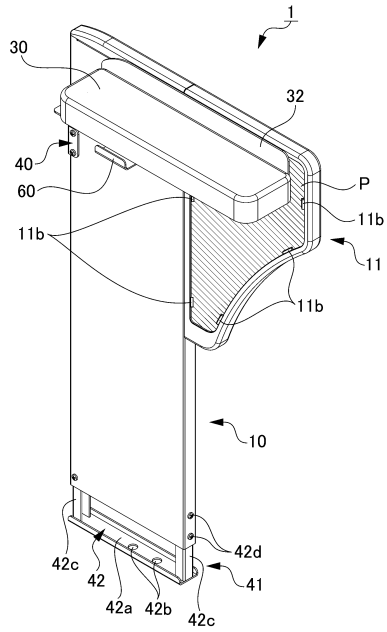
【図 1】



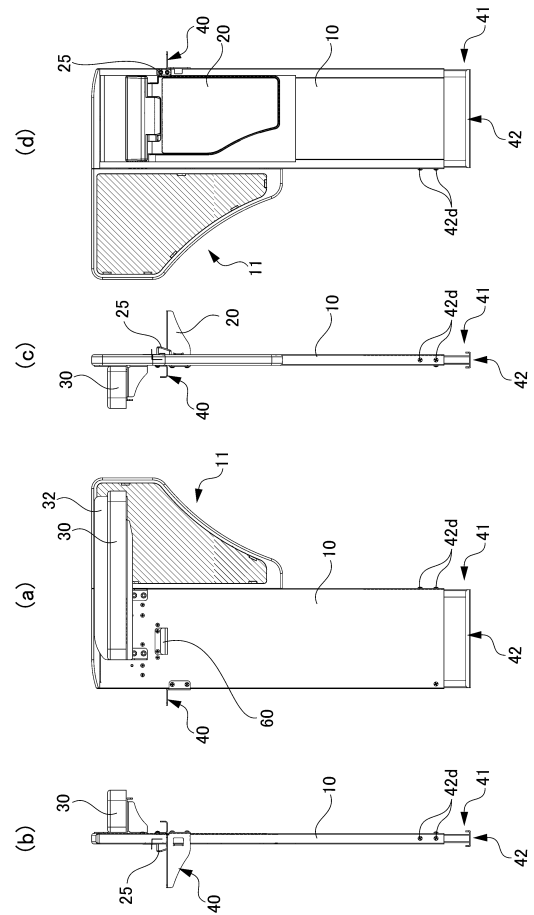
【図 2】



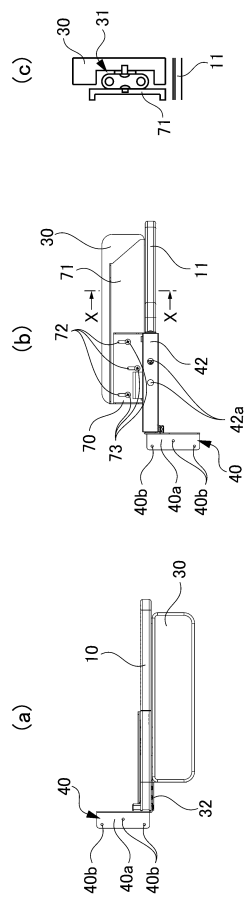
【図 3】



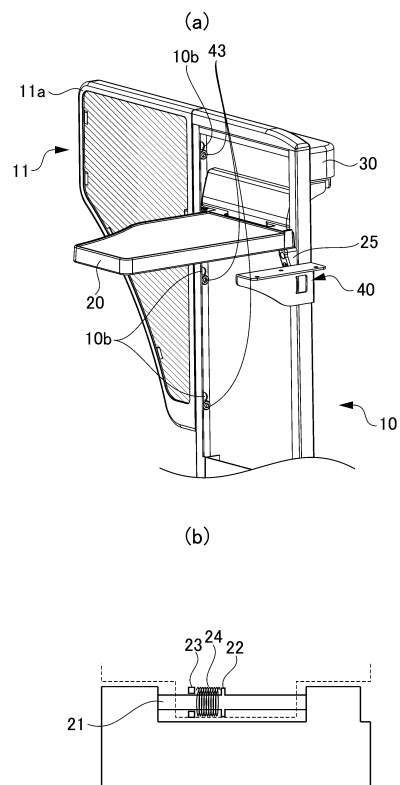
【図 4】



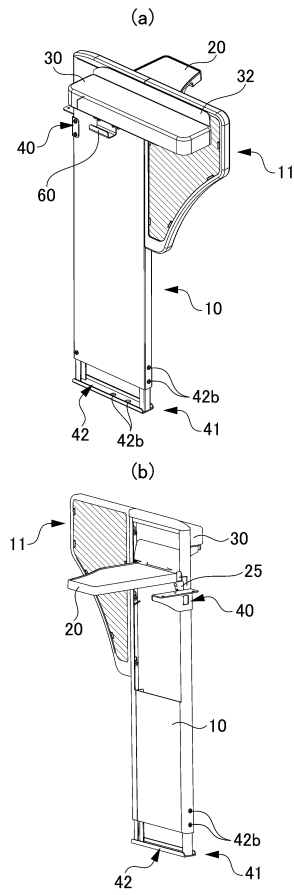
【図 5】



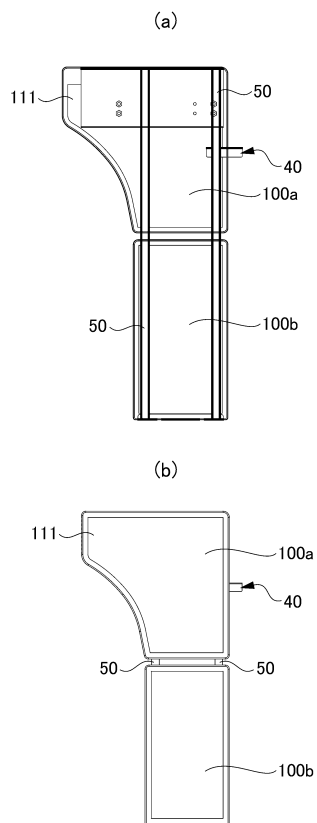
【図 6】



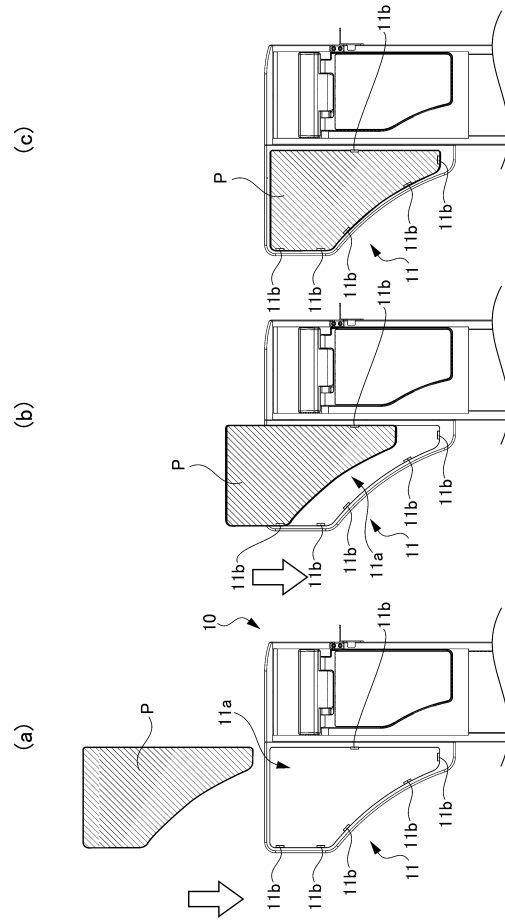
【図 7】



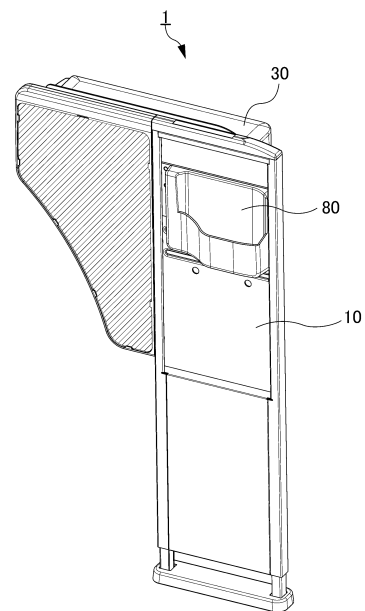
【図 9】



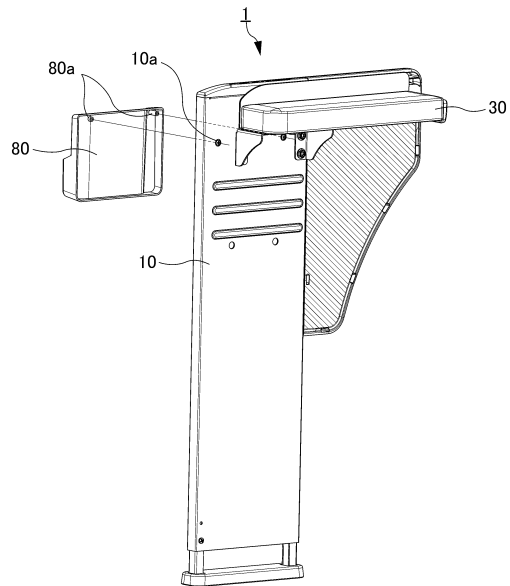
【図 8】



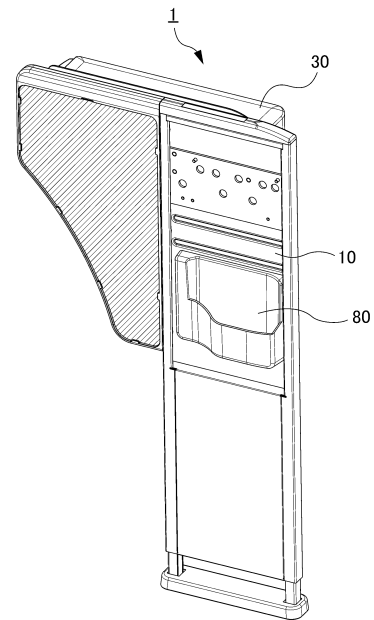
【図 10】



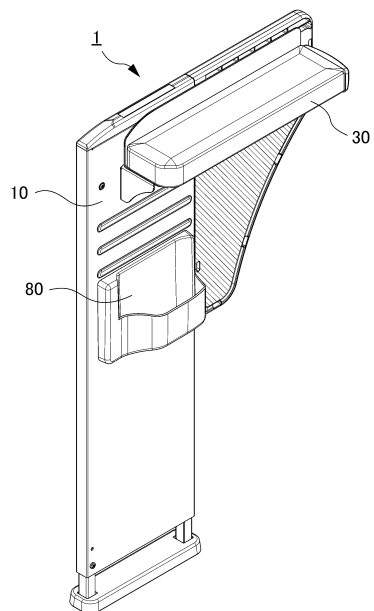
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】



フロントページの続き

(56)参考文献 登録実用新案第3136432(JP,U)
登録実用新案第3033505(JP,U)
特開2013-022084(JP,A)
登録実用新案第3167697(JP,U)
特開2013-176554(JP,A)
特開2010-058526(JP,A)
登録実用新案第3109116(JP,U)
特開2015-054031(JP,A)
特開2010-051613(JP,A)
国際公開第2014/060910(WO,A1)
特開2007-144120(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A63F	7/02
A63F	5/04